

「思いやりの心」を再考する



聖徳大学児童学部元教授
学校心理士 高橋 かほる

いま、「幼児教育において育みたい資質」とはどのようなことでしょうか。

社会状況の大きな変化のなか、子どもの育ちや相應しい援助について深く考えさせられる場面に出会うことが多くなっています。私は、大学教員になる以前は15年間幼稚園教諭として保育現場に携わっておりました。現在は、大学退官後、様々な地方の子どもたちや保護者の方々と接する機会も増え、その折にも「思いやりの心」についてお話しさせて頂いております。私にとって保育現場からの声は、幼児教育に携わる者としてのベースとなっています。

日本の幼児教育は、心情・意欲・態度を重視しています。しかし、近年、早期教育等を良しとする論調もあり、教育を取り巻く諸情勢は常に変化していると思われます。

そのような中、社会的・情動的スキルといった「非認知的スキル」が、幼児教育において注目されています。

平成28年度末には幼稚園教育要領改訂が告示され、少子化が加速する中での幼児教育について、方向性が明示されました。本改訂は、「幼児期に育ってほしい具体的な姿」として①健康な心と体、②自立心、③協同性、④道徳性・規範意識の芽生え、⑤社会生活との関わり、⑥思考力の芽生え、⑦自然との関わり・生命尊重、⑧数量・図形、文字等への関心・感覚、⑨言葉による伝え合い、⑩豊かな感性と表現、の10項目を示しています。上記の項目からもわかるように、「非認知的スキル」と呼ばれる社会的・情動的スキルの発育が大きく求められていると、感じられます。

非認知的スキルの重要性は、教育関係者以外からも指摘されています。2000年にノーベル経済学賞を受賞したアメリカの経済学者、ジェームス・J・ヘッ

クマンは自身の研究をまとめた著書において、社会的に成功するためには、「非認知的スキル」が重要であると指摘しています。また、特に興味深いのが、認知的スキル・非認知的スキルどちらも幼児期に発達すること、環境によって発達が左右されることを研究から示していることです。経済学者の視点から、幼児教育は多岐にわたる資質を育むことを求められているのです。

では、日本の幼児教育について、先程の10項目から、④を具体的に考えてみましょう。④は道徳性・規範意識の芽生えです。これは、「してよいことや悪いことがわかり、相手の立場に立って行動するようになり、自分の気持ちを調整し、友達と折り合いを付けながら、決まりを守る必要性がわかり、決まりを守ったり作ったりするようになる」ということです。まさに、平井信義先生の「思いやりの発達過程」の御研究を彷彿とさせます。

その中では思いやりについて「思いやりとは相手の立場に立って相手の気持ちを汲む心」であり、思いやり行動の動機が相手を中心とした気持ちか、それとも自分本位のものなのか、行動だけでなく気持ちに重点をおくことが思いやりを捉える上で重要である、としています。

子どもたちの温かいエピソードはたくさんありますが、「ろくべえ まってろよ」（文研出版）は、子どもたちのろくべえに対する思いやりにあふれている絵本です。ろくべえを助けたい一心で、子どもたちは考え工夫し、協同しあう場面が生き生きと描かれています。

人は生まれながらにして人間関係の中で育ちます。子どもが自尊心を持ち、他者への気づきに心を動かすとき、思いやりの芽は育まれるのではないでしょうか。

平成 29 年度政府予算について報告

全日私幼連の団体長会・理事会合同会議が1月31日、東京・私学会館において開催され、65名が出席しました。

はじめに北條泰雅副会長より開会のあいさつが述べられました。

議事に移り、議長に濱名浩理事（兵庫）、西谷正文理事（島根）、議事録署名人に近藤宏理事（北海道）、菅原真爾理事（佐賀）を選出しました。

行政報告：「平成 29 年度政府予算」について／伊藤学司文部科学省初等中等教育局幼児教育課長、淵上孝文部科学省高等教育局私学部私学助成課長より資料をもとに説明がありました。

報告案件 1：組織改革検討会・答申について／藤本組織改革委員長から資料をもとに答申が述べられました。

審議案件：平成 29 年度全日私幼連会費（案）について／田中辰実総務委員長から説明があり、賛成多数により承認されました。

報告案件 2：会務運営報告について／総務委員会：田中委員長より JK 保険、3 号子どもの会費について、政策委員会：坪井委員長より国の子ども・子育て会議について、教育研究委員会：宮下委員長より全国研究研修担当者会議、公開保育コーディ

ネーター養成講座・フォローアップ研修会について、経営研究委員会：尾上委員長より貸切バス選定・利用ガイドライン、後継者育成研修会、広報委員会：四ツ釜委員長より賛助会員の入会、ようちえん絵本大賞、PTA しんぶん・ホームページの改良について、102 条園委員会：溝渕委員長より青色申告、102 条園研修会について、認定こども園委員会：橋本委員長より認定こども園委員会について、政令指定都市特別委員会：政令指定都市特別委員会研修会について、こどもがまんなか PROJECT：尾上こどもがまんなか PROJECT 企画推進会議委員長よりタイアップ企業説明会、絵本ガイドの作成、ファミリーコンサートの開催、「こどもがまんなか PROJECT」アワードについて報告がありました。

（公財）全日私幼研究機構からの報告／田中雅道（公財）全日私幼研究機構理事長より、中堅教諭（ミドルリーダー）研修講座の実施について説明がありました。

その他：岩田専務理事より全日私幼連加盟の意義について説明がありました。

最後に、田中雅道全日私幼連副会長の閉会のあいさつで終了しました。

（調査広報委員長・四ツ釜雅彦）



**バス専用機不要！
スマホで簡単バス運行管理！**

くるんとバス

-通園バス位置情報システム-

「くるんとバス」はスマートフォン・タブレットの GPS 機能を活用したシステムで、バスの運行情報や到着メール・ルート作成等を提供するクラウド型サービスです。



いつもNAVI
 「いつも NAVI」動態管理サービス for 送迎バス（くるんとバス）は、株式会社ゼンリンデータコムの登録商標です。



株式会社 **チャイルド社**

インターネット課

TEL.03-5370-7497 〒167-0052 東京都杉並区南荻窪4-37-15

ホームページアドレス <http://www.child.co.jp/>

● 2.17 常任理事会

平成 28 年度事業計画案について

全日私幼連の常任理事会が 2 月 17 日、東京・私学会館において開催され、25 名が出席しました。議長に小澤俊通副会長、議事録署名人に安家周一常任理事、松下瑞應常任理事を選出し議事に入りました。

■審議案件 1：平成 28 年度補正予算案について／田中辰実総務委員長より資料をもとに説明が行われ、審議の結果賛成多数により承認されました。

■審議案件 2：平成 29 年度事業計画案について／各委員長より説明があり、審議の結果、原案を一部修正し承認されました。

■審議案件 3：平成 29 年度収支予算案について／田中総務委員長より資料をもとに説明が行われ、審議の結果賛成多数により承認されました。

■協議案件：全日私幼連会費（3 号認定）について／田中総務委員長より資料をもとに説明が行われま



した。

■報告案件：会務運営報告について／各委員会委員長、プロジェクト座長から報告がありました。

園尾憲一副会長の閉会の言葉で終了しました。

（総務委員長・田中辰実）

● 2.20

後継者育成研修会が開催される

2 月 20 日、東京・アルカディア市ヶ谷において、私立幼稚園の次代を担う園長先生や後継者の先生方を対象とした「後継者育成研修会」が開催され、全国から約 140 名の先生方が参加しました。

はじめに、園尾憲一全日私幼連副会長より開会のあいさつが述べられた後、尾上正史経営研究委員長の概要説明が行われました。研修会の主な内容は下記のとおりです。

●講演Ⅰ／「今後の全日私幼連のあり方について」

講師：全日私幼連副会長・田中雅道

●行政報告／「幼児教育の最新事情」

講師：文部科学省初等中等教育局幼児教育課長・伊藤学司氏

●講演Ⅱ／「新制度施行により求められる幼稚園の



◀ 伊藤学司幼児教育課長

本質」

講師：E リソースセンター・石田敦志氏

●ワークショップ／グループに分かれ、自身の体験談や現在抱えている悩み等を討議し発表しました。

公益財団法人全日本私立幼稚園幼児教育研究機構

★ 2月15日

公開保育コーディネーター養成講座開かれる

東京・私学会館



◀ 岡健大妻女子大学教授

講座の概要は次の通りです。

○実践発表

発表者：石川県・木の花幼稚園園長 鮎川正氏

富山県・堀川幼稚園副園長 波岡千穂氏

○グループワーク

講師：（公財）全日私幼研究機構研修委員会協力委員 秦賢志

○講義

講師：大妻女子大学家政学部児童学科教授 岡健氏

最後に、宮下友美恵（公財）全日私幼研究機構研究研修委員長よりあいさつがあり閉会しました。

2月15日、東京・私学会館において、（公財）全日本私立幼稚園幼児教育研究機構主催の「公開保育コーディネーター養成講座」が開催されました。今年度の養成講座は49名が受講しており、受講者は6月の養成講座や、各地区の公開保育・ワークショップへ参加し、今日が養成講座のまとめとなります。

はじめに安家周一（公財）全日私幼研究機構副理事長より開会のあいさつがありました。

2月20日、東京・私学会館において、（公財）全日私幼研究機構主催の「公開保育コーディネーターフォローアップ研修会」が開催されました。講師に秦賢志研究研修協力委員を迎え、26名の受講者が参加しました。

(株)学研教育みらい

東京都品川区西五反田2-11-8
幼児教育事業部

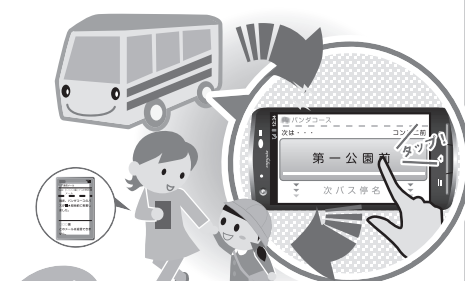
お問い合わせは
フリーダイヤル 0120-833-415

園ぴゅう太のメールサービス



らくらくメール

園から保護者へらくらくメール送信！
組別・個別送信、既読確認もできます。
サーバー二重化で、いざという時も安心です。



らくらくバスメール

スマートフォンでバスメールを送信！
大きなボタン表示で画面操作もらくらく。
タップするだけでメール送信できます。

ぜ～んぶ学研に
おまかせ!!

心機一転！
リニューアル

オリジナル！
キャラクター
ロゴ

Flashで
動画！

らくらくホームページ

目的やご要望に合わせて作成し、学研が更新
もお電話・FAXで対応します。
「お知らせ更新は園で…」というご要望にも
システム併用でご対応いたします。



第8回ようちえん絵本大賞

～新しい絵本をみつけよう～

大賞
15冊が決定

第8回ようちえん絵本大賞は、“子どもに読み聞かせたい絵本”、“お父さん・お母さんに読んでほしい・お勧めしたい絵本”を選考の基準として、(公財)全日本私立幼稚園幼児教育研究機構・調査広報委員会が過去5年以内に出版された絵本の中から選考を行いました。その結果、特別賞3作品を含む15冊が絵本大賞に選ばれました。

調査広報委員一同、これからも子どもたちと絵本との出会いの一助となるよう努めてまいります。なお、参考までに調査広報委員会が絵本の紹介文を記載させていただきました。

第8回ようちえん絵本大賞 受賞一覧

絵本名・作者・出版社名		絵本の紹介
特別賞	(公財)全日本私立幼稚園幼児教育研究機構 理事長賞 ちがうねん ジョン・クラッセン (作) 長谷川義史 (訳) クレヨンハウス	大きな魚が寝ている間に、小さな魚が大きな魚の小さな帽子を盗って逃げました。小さな魚は、「ちがうねん」(自分の帽子ではない)とわかっているものの、「大きな魚には小さすぎる」とか、「きっと見つからないさ」と、勝手な理屈をつけて逃げ続けます。「目は口ほどに物を言う」のことわざそのままに、小さな魚のつぶやきと、大きな魚の目の動きなど、文字と絵の掛け合いの面白さ。絵本は、絵と文字のハーモニーで成り立っていることを改めて気づかせてくれる絵本です。 絵本の世界チャンピオンとも言われる、ケイト・グリーナウエイ賞(英)とコールデコット賞(米)の2冠を受賞しました。
	調査広報委員長賞 いしゃがよい さくらせかい (作) 福音館書店	パンダのファンファンと一緒に暮らすエンさん。体の弱いファンファンのため、雨の日も、雪の日も自転車に乗ってひとやまこえ、ふたやまこえ、いしゃがよい。時は流れ、エンさんはおじいさんに。今度はファンファンが具合の悪いエンさんを自転車に乗せ、いしゃがよい。帰り道、ファンファンの「ふたりはずっとなかよし」の歌にほろりと涙を流すエンさん。エンさんに、自分を育ててくれた両親の姿を重ねるお母さん方も多いのでは。何だか懐かしく、心が温くなる一冊です。
	こどもがまんなかPROJECT賞 きょうはそらにまるいつき 荒井良二 (作) 偕成社	ふと見あげた空に満月を見つけたとき、それは子どもにとっても大人にとってもうれしいことではないでしょうか。大喜びするほどではないけれど、いろいろな場所で、それぞれの人がおなじ月を見あげてうれしい気持ちになっているとしたら、とても素敵なことだと思います。そのうれしさは、日々の暮らしの中で受け取るささやかなご褒美なのかもしれません。先を急がず、ゆっくりとページをめくっていききたい絵本です。
絵本名・作者・出版社名		絵本の紹介
もう ぬげない ヨシタケシンスケ (作) ブロンズ新社		日常のどこにでもありそうな一コマ。何でも自分でやろうとする男の子。でも、一人ではできないこともたくさんあります。そんな時、主人公の男の子は、小さな心で何を感じ、どんなことを考えているのでしょうか。根拠のない自信と誇り、それらを偉大な「ママ」に助けられながら、一つひとつ確かなものにしていく日々が愛おしい。忙しいママの気持ちも、ふと和みます。
ごはん 平野恵理子 (作) 福音館書店		日本人のお米離れは急速に進んでいるようですが、この絵本には和洋問わず8タイプ計115種類のごはんが登場します。たきこみごはん、がいこくごはん、おむすび、おちゃづけ、おすし等々、バラエティに富んだ日本の食文化に改めて気付かされます。特にストーリーがあるわけではなく、まるで「ごはん図鑑」のようですが、食べたことも見たこともないごはんを眺めていると、どんな味なんだろうと想像がかきたてられます。

絵本名・作者・出版社名	絵本の紹介
よるのかえりみち みやこしあきこ(作) 偕成社	もう ねむたくなっちゃった きょうは たくさん あそんだから …そんな冒頭のフレーズが子どもの素直な気持ちを端的に物語っています。うさぎさんの親子が家路につきます。薄暗くなった町はレストランもほんやさんもみせじまいです。お母さんうさぎにもたれてうとうとしかけているうさぎの子どもは薄目をあけて、暮れる町の様子をゆったりとながめています。親子の会話はほとんどありませんが、感じ合える心のつながりが自然と伝わってきます。やわらかい絵も読む人を幸せにしてくれます。 みんな家にかえる いつものように そして一日が静かに終わる。その安堵感・充実感がこの本のテーマです。
ママがおばけになっちゃった！ のぶみ(作) 講談社	かんたろうのママはおっちょこちょい…。このため自動車事故で「おばけ」になってしまいました。でも、わが子のことが心配でたまりませんでした。そうしたある日の真夜中、ママはついにわが子の前に現れたのです。そして、かんたろうに「自分の人生は失敗の多いものだった。でもあなたを産んだことは大成功だった。あなたを産むためにこそ、わたしは生まれてきたのだと思う」と語ります。これが、かんたろうの生きる力となりました！
まって アントワネット・ポーティス(作) 椎名かおる(訳) あすなろ書房	大人はとかく日々の暮らしをよどみなく進めていこうと一生懸命です。ですからいつも時間に追われて大忙し。はやくはやくと、おかあさんはわが子をせきたてます。たとえいつもと同じ道を歩いても、男の子には楽しいことがあふれています。そのたびに、おかあさんに「まって」といいますが…。忙しい毎日に心がささくれだつこともあるかもしれませんが、最後の「まって」にきつと癒されることでしょう。
おひめさまはねむりたくないけれど メアリー・ルージュ(作) パメラ・ザガレンスキー(絵) 浜崎絵梨(訳) そうえん社	これは、なかなか寝つかないおひめさまのお話です。「ねえ、せかいじゅうのみんながねるの？」とおひめさまがたずねます。「せかいじゅうのいのちが、ねむりにつくのよ」と、おきさきさまがこたえます。すると「わたしね、ねるのがだいすきなどうぶつしってるよ」と、おひめさまがいいます。こんなやり取りを繰り返すうちに、おひめさまは、ぐっすり、ぐっすりねむりにおちてゆきました。おかあさんもお子さんと一緒にねむってください。
とんでもない 鈴木 のりたけ(作) アリス館	隣の芝生が青く見えるのは絵本の世界でも同じこと。普通の子のぼくはよろいのようなりっぱな皮を持つさいがうらやましい。ところが、さいは「とんでもない、びよんびよんはねるうさぎがいい」。うさぎは「とんでもない、ゆったり泳ぐくじらがいい」。くじらは……。ぐるりと回って最後は普通の子のぼくが一番というオチ。「鈴木 のりたけ」の世界を堪能しつつ、いろいろなページにしかけられた「おまけ」を紐解きながら読むのも楽しい本。
ぺんぎんたいそう 齋藤 槇(作) 福音館書店	足の短いペンギンが伸びたり、縮んだり、跳ねたりと体操をする姿はなんとも微笑ましく、ページをめくるたびにその動きを真似したくなります。0．1．2歳対象の絵本ですが、楽しい絵本は年齢を問いません。黄色一色の背景に、白黒のペンギンというコントラストも鮮やかで、なんだか元気がでます。最後の体操はペンギンならではの。さてどこを動かすと思いますか？親子での体操に役買ってくれそうな絵本です。
絵巻じたて ひろがるえほん かわ 加古里子(作・絵) 福音館書店	山でうまれた川が、平野を抜け、蛇行しながらやがて海へとたどり着くまでの長い旅を、川の流れ周辺の人々の営みとともに丹念に描き込んだ加古里子さんの代表作『かわ』を全長約7メートルの絵巻じたてにした本書は、自然科学絵本の金字塔と言えましょう。絵巻の裏面は川の流れのみが水色で印刷され、上流から下流へと変わっていく川の姿が一目瞭然となっています。これは読み物というよりも、とにかく見て楽しい眺める絵本であり、どれだけ眺めていても飽きることがありません。私たちが加古さんの生み出す絵本世界と出会ってはや半世紀。どれほど多くの人々が加古さんの素敵な作品群に想像力を刺激され、心を耕され、育まれてきたことでしょう。絵巻じたてとなった加古さんのこの素敵な絵本を皆様もぜひ一度お手に取って開いてみてください。

絵本名・作者・出版社名	絵本の紹介
でてくる でてくる 岩田明子(作・絵) ひかりのくに	シーンと静かな真夜中の公園に、次々と意外な生きものたちが出現します。それら生きものたちは、表情もコワく異様な大きさで出現するのです。でも、読者である幼な子たちは何故か恐怖心を抱かないのです。何故でしょう？ もう一点、この絵本で面白いのは、次に何が登場するのか。そのヒントが前のページにさりげなく与えられている点です。皆さんのお子様たちはそのヒントに気付く子どもでしょうか？
どっちもね おおなり修司(作) 高島純(絵) 絵本館	「日本語はおもしろい」。この絵本をよむと本当にそう思います。「ねこと かげ」「ねこ とかげ」「いぬと くい」「いぬ とくい」「ヒョウ にあう」「ヒョウに あう」等々。声を出して読みながら、思わず「にやり」としてしまいます。どこで区切るか。区切りで全く違うものになる日本語の素晴らしさ。ユーモラスな絵を眺めつつ、「文はひとつ、なのに意味はふたつ」を心の中で唱えつつ、ページをめくります。「あー、おもしろい！」
ドングリ・ドングラ コマヤスカン(作) くもん出版	「ドーン！グラグラグラ」。ある日、海の向こうの島が赤い火を吹きました。それを見たトチノミたろうは、ドングリたちに呼びかけます。「ぼくらのたびをはじめよう！」と。すると、森の中から数えきれないほどのドングリが集まり、赤い火を吹く島を目指して歌いながら進みはじめます。 本書は子どもたちが大好きなドングリを主人公にした、壮大な冒険活劇であり、涙あり笑いありの人間(ドングリ?)ドラマであります。そして物語の最後には、(何故かれらは火を吹く島を目指したのか?)という、その理由が静かに語られ、読む者の胸を打ちます。つまりこれは絵本の形をとった荘厳なる叙事詩なのです。コマヤスカンさんの熱い想いがじわりと心に沁みてきます。

幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に準じた指導計画

月刊 保育とかりきゅん

毎月2日 発売



ひかりのくに株式会社

本社/〒543-0001 大阪市天王寺区上本町3-2-14 TEL.06-6768-1151代表
支社/〒175-0082 東京都板橋区高島平6-1-1 TEL.03-3979-3111代表



～(公財) 全日私幼研究機構・研究研修委員会
公開保育コーディネーター養成小委員会から～

新たな世界へ旅をしよう！ ～公開保育コーディネーター養成の意義と目的～

(公財) 全日本私立幼稚園幼児教育研究機構
研究研修委員会専門委員
岡本潤子 (青森県・千葉幼稚園)

だれしも自分のことは自分が最もよく知っているはずですが、どうしても見えない部分があるように、自分では気づかないことがあるものです。物事を捉える時にも、ただ自分の内側だけでは捉えることができないことでも、一步外へ出て、外から内を見ることによって、自分たちが置かれている立場がわかり、自己をより深く理解することができます。「かわいい子には旅をさせよ」「少年よ大志を抱け」等の言葉があるように、自分という枠を超えて新たな世界へ旅することが、人の力を伸ばし育ててくれる力となります。

同じように、自分の園のことは自分たちが最もよくわかっていますが、幼稚園の良さや課題を自分たちの内だけで解決するだけではなく、新たな世界へ旅をするように、研修を通じて力を伸ばすことがで

きる方法。これが、全日本私立幼稚園幼児教育研究機構がこれまでの研究の蓄積を通して創り出し構築した、現在行っている『公開保育を活用した幼児教育の質の向上システム』です。このシステムの大きな特徴は「公開保育を活用する」ということと、そこに「公開保育コーディネーター」の存在があるということです。

これまでの研修は、それぞれの園が自分たちの歩みで研修を進めてくることで、質の向上を図ってきました。

日本に幼稚園が誕生してから140年という長い間、全国の私立幼稚園は人間の基礎をつくる幼児教育の重要性を社会に訴えるために、それぞれの地域で自分たちの園をよくする実践をもって社会に認められ、社会から信頼を得てきました。このシステム

地域で愛される園になるためのサポートブック

園のリーダーのために

保育ナビ

管理職向け月刊誌

定価：本体価格926円＋税

B5判 72ページ

2017年4月号の主な内容

- 保育ナビスペシャル対談** 今回のゲストはデザイナーの皆川明さんです。オリジナルな図案によるファブリックづくりから丁寧に服づくりをする皆川さんに、心地よい暮らしのつくり方、想像力を育むヒントをうかがいます。
- 特集 解説！ 3法令** 一よくわかる 新しい保育の流れー
今春に同時改訂(定)される3法令の内容の全体像をつかむために、実際の検討作業に携わられた3名の先生に改訂(定)のポイントを教えてくださいました。新しい保育の流れが簡単に理解できます。
- 組織の活性化は若手の成長がカギ！ 若手保育者の育成法** 今月は「新人保育者の育成」をテーマに、「習う」より「慣れる」、後付けの大切さ、外部研修の活用、保育の楽しさを引き出すこと等お伝えしていきます。



ISBN978-4-577-81409-3

784

本社：〒113-8611 東京都文京区本駒込 6-14-9 <http://www.froebel-kan.co.jp>
ご注文・定期購読のお申し込みは 03-5395-6608 保育事業部営業本部まで

キンダーブックの **フレーベル館**

においても、その根本は変わりませんが、建学の精神を持ち幼稚園教育要領を根底に、様々な方法で教育実践を続ける全国の私立幼稚園が、さらに質を向上させるために必要なことは、自分たちの保育を自分たちで語り、開き、そこから新たな力を生み出していくという姿勢です。「少年よ大志を抱け」のクラーク博士が指差した方向は「彼方」であり「未来」です。私たちも、その未来を拓くために、友と共に研修を進めるべくお手伝いを「公開保育コーディネーター」が担うことを目的としています。

「公開保育を活用する」ことの意義は、そこに他者が存在するということです。自分たちに見えている部分として捉える自園の良さや課題と、自分たちには見えていない良さや課題があることを考える時、その見えにくい部分を、公開保育に参加する人々に問うことが必要となります。公開園から問われた問いに対し、参加者からの感想が園内研修をさらに深める材料として手元に残り、次へのSTEPへと導いてくれるのです。

旅を共にする人のことを、コンダクター、ガイド、シェルパ等、様々な呼び名がありますが、あくまでも案内人であり、歩みを進めるのは旅人本人であるように、公開保育コーディネーターも、行き先まで強引に導いたり、その園の保育を決めつけたり、否定するのではなく、保育の質の向上という頂を目指して挑むチームの中で、いくつもの道の意味を共に

考え、どの道に行くかそれぞれの意見を聞き合う等、あくまでもチームの一員として歩む役割を担う公開保育コーディネーター。

（公財）全日私幼研究機構では、平成25年度よりこの公開保育コーディネーター養成を開始し、全国で行われる公開保育の中で実践を積んできました。このシステムを通じ、新たな世界を目指す園が同僚性を育てながら保育を語り合い、自分たちの世界を拓くことにより、日本の幼児教育の質が向上するものと信じています。

PTAしんぶんを ぜひご活用ください

「全日私幼連 PTA しんぶん」は「子どものしあわせを願う親と先生のひろば」としての役割を果たしています。

PTA しんぶんを希望される幼稚園は、（公財）全日本私立幼稚園幼児教育研究機構までお問い合わせください。

☎ 03-3237-1957

（公財）全日私幼研究機構・調査広報委員会



新しいものを見るたび、触れるたび、

目覚ましく成長する子どもたち。

子どもたちにとって、毎日が成長の舞台です。

育む環境で、子どもたちの明日は変わる。

だから、私たちは大切なことを「環境」から考えます。

好奇心や想像力、勇気や感動。

そして、子ども同士の関わり合い。

子どもたちが大切な時期に、確かな一歩を踏み出せるように、

最良な環境の未来をつくりあげていきます。

こども環境の未来をつくる



ジャクエツ

第8回 幼児教育実践学会

〔 本学会の位置付けは、本財団が主催する実践を中心とした全国研究会です。 〕



第1次案内（予定）

- テーマ 「人生のスタートにこそ良質な教育を」
～保育臨床の視点を大切に、保育の質を問いつづけよう～
- 趣 旨
幼児教育の実践を豊かにし、幼児教育の有用性を社会に示すことで、子どもの育ちが最優先される社会が実現されることを目指して、平成22年度、幼児教育実践学会がスタートしました。
本学会では、3つの柱により学会運営を行います。
 - ①発表者には、実践を踏まえた研究発表を行い、できるだけ映像等を使用する
 - ②参加者は、生きた研修のメイキングの仕方を学び、地区・都道府県から各園に周知する
 - ③保育実践者と研究者が共に育ちあう
- 期 日 平成29年8月18日（金）・19日（土）
- 協 力 （公社）北海道私立幼稚園協会
- 予定会場 北海道札幌市 1日目／共済ホール 2日目／札幌大谷大学
- 参加資格 幼児教育関係者
- 定 員 500人
- 参加費 4,000円

大会の流れ（予定）

○第1日目

11:30～	12:30～13:15	13:15～14:45	14:45～15:05	15:05～15:35	15:40～17:10	18:00～19:30
受付	開会式 表彰式	基調講演	休憩	ポスター実践発表	パネルディスカ ッション	保育者と研究者 の交流懇親会

※昼食のご用意はありません。各自でお取りください。

※「表彰式」では、本財団の平成28年度優秀教員表彰者を表彰します。

※札幌市内の私立幼稚園・こども園の園長先生方のご厚意で、1日目の午前中にいくつかの園を見学させて頂けることになりました。ご希望の方は第二次案内にて詳細をご案内いたします。

○第2日目

9:30～10:50	10:50～13:10	13:10～14:30
口頭発表Ⅰ	ポスター発表 昼 食	口頭発表Ⅱ

※終了後は各自解散となります。

参加を希望される方へ

○第8回学会への参加申し込み期間は、平成29年5月8日（月）までです

○「開催要項」及び「参加申込書」は4月初旬頃に改めてご案内させていただきます

発表を希望される方へ

【発表資格】発表者は、次の条件を満たしていることが必要です。

- ①幼児教育の実践に携わっていること。或いは、実践を基に研究を行っていること
- ②「口頭発表」（地区・都道府県）は平成29年3月31日（金）までに、「ポスター発表」は5月8日（月）までに申込書・企画趣旨概要を提出済みであること
- ③発表者は大会に参加して発表ならびに討論・質疑応答に参加すること

【研究・発表形態と条件】

- ①保育実践をより豊かにすることを目指すことから実践を踏まえた研究であること
- ②特に地区からの発表には、保育実践者と研究者が共に育ち合うという意味からも、できるだけ大学等の共同研究者にも参加して頂きたい
- ③研究発表が一方的な発表に終わるのではなく、参加者が提案事例をより共有しながら進められるように出来れば動画や写真など映像等を用いていること
- ④既発表のものでも構いません
- ⑤発表は園児、保護者等の個人情報等の管理等について発表者の責任において行ってください

【口頭発表（地区・都道府県）】

- ①申込方法
 - ・申込書・企画趣旨概要を都道府県団体事務局へ申し込みを行ってください
 - ・締切：平成 29 年 3 月 31 日（金）宛先：各都道府県団体事務局
 - ・申込書のフォームは本財団ホームページからダウンロードができます
- ②発表要領（1 セッション 80 分）
 - ・発表時間は 1 発表につき 50 分程度（共同研究発表者の発表も含む）の発表で、残りの時間を質疑応答とします。実践学会では討議の時間が大切だと考えておりますので、その時間が十分に取れますように時間配分にご配慮ください。
 - ・発表後、座長の進行で討論を行います
 - ・発表に際しては、出来るだけ実践での映像等を用いて参加者が提案事例をより共有しやすいようにしてください（PC は各自持参ください）

【ポスター発表（園・個人・研究者）】

- ①申込方法
 - ・本財団に申込書・企画趣旨概要をメールにて申し込みを行う
 - ・締切：平成 29 年 5 月 8 日（月）宛先：info@youchien-kikou.com
※件名に「**第 8 回幼児教育実践学会 ポスター発表申込み**」と記載ください。
 - ・申込書のフォームは本財団ホームページからダウンロードができます
 - ・普通会员または賛助会員以外の発表者については、発表費として 1 発表あたり 5,000 円をいただきます。発表費は参加費をお支払いいただく際にあわせてお支払いください
 - *普通会员は、都道府県私立幼稚園団体に加盟している私立幼稚園です。
 - *賛助会員は、本機構の目的に賛同し、その事業に協力する個人、団体又は企業です。
- ②発表要領
 - ・1 セッション 140 分
 - ・発表者は、縦 180 cm×横 90 cm（2 枚）のスペースに実践研究の要旨・図・表・写真などを貼ったポスターを準備し、会場で質問に答えながら自由に討論を深めます。セッション時間中は、必ず在席してください
 - ・発表ポスターは各自が持参し、2 日目に所定の場所に貼り、終了後各自で撤収し、持ち帰りください

【発表区分】

- ・研究発表希望者は、本財団の研修俯瞰図の内容区分から選択してください

【その他】

- ・「開催要項」及び「参加申込書」等の発送は、4 月上旬頃を予定しています
- ・宿泊先の確保、交通チケットなどは各自でご予約ご購入ください

布おむつと排泄との関係について

発表者氏名 影山佳代（あけぼの保育園）
小澤靖子（あけぼの保育園）

森本亜紀子（あけぼの保育園）

【オムツを見直すきっかけ】

近年自園では幼稚園児・保育園児の排泄自立の差が見られていました。排泄自立の差は、何が影響しているのか？環境だけが排泄自立に影響しているのか？そのような疑問をもつ中、紙オムツが紙で出来ているのではなく、「石油由来の物質で作られている」ことを知りました。紙オムツの材料は紙だと思っていた私達にとって衝撃でした。また、石油由来の物質が子ども達の肌にどう影響し、また子ども達にとって本当に気持ちがいいものか？といった疑問もうまれ「オムツ」について見直し、考えはじめました。

【保護者協力】

布オムツの取り組みは園だけで行うのではなく、保護者を巻き込んでの取り組みを大切にしました。

- 1.家の布オムツ持ち込み（使用）は不可
- 2.リース代の負担です。
- 3.持ち帰り不可
- 4.送迎時のおむつ交換を保護者の手で行う

【布おむつを通して子どもと向き合う】

“排泄表の利用”

排泄表はトイレの誰でも見られる所に掛けて



います。排泄表を見て、「家では2～3時間おきにしかオムツ交換をしていなかったけど、その間にも何回もおしっこをし

ているんだな～」と気付かれる保護者の方も居り、年齢に合わせたオムツ交換のあり方を伝える良い機会ともなりました。また、「園で丁寧に関わってくれていることを無駄にしないように、家でも出来る限り頑張っています」という嬉しい声も聞かれました。実際に排泄表に記録に残すことで、保護者の排泄への関心が高まったように感じ

ます。また、私達の保育園ではローテーションで職員の勤務をまわしています。担当児が保育中でも担当の保育者の出勤時間外ということで他の保育者へオムツ交換をお願いすることもあります。そのような場合にもこの排泄表を見ると、個々に合わせたオムツ交換の時間がわかるようになっていきます。

【登降園時のオムツ交換を保護者の手で行ってもらう】

朝の登園時は、仕事へ向かわれる保護者慌ただしい時間だからこそ子ども達としっかりと向き合い、“いってきます”“あなたのことを大切に思っているよ”のメッセージを伝えてほしいと思っています。もちろん今までよりも5分～10分余裕を持って登園してもらわなければいけませんが、ほとんどの保護者の方が私達の意図を受け入れて下さり、協力して下さっています。この朝のオムツ交換の時間を設けるようになったことで、保護者との分離時の子ども達の様子が、今までよりも安定しているように感じています。



【オムツを通して子どもと向き合う】

私達の保育園は歩けるようになるとパンツ型の紙オムツへと移行していました。



それにより、子どもが立った状態でオムツを脱いで履くという、短時間でオムツ交換の時間が終わってしまっており、オムツ交換の時間よりも遊びの時間やその他



の生活の時間を重視してしまっていました。当時はそのことに関して何も違和感がなかったのですが、布オムツに変えたことで、“子どもと向き合うオムツ交換の時間”ということを考え直すことが出来ました。

しかし、布オムツの場合は、子どもが交換台に寝転び子どもと大人が向かい合った状態で目と目を合わせて行うことが出来ます。使用して



いたオムツを外して新しいオムツへ交換するという一連の流れがあり、この時間は短縮することが出来ません。そして、必ず1対1でしか交換することが出来ません。しかし、紙オムツの時は2～3人の子ども達とトイレへ向かい、オムツの交換を行う、というようなことも行ってしまっていました。これでは担当の保育者との愛着関係の形成という部分では意味を成していなかったのではないかと反省する部分もあります。布オムツを取り入れたことにより、必然的に1対1でのオムツ交換の時間が確保され、子ども達と向き合うことの出来る時間が増えました。

【布オムツは紙オムツより不快を感じやすい？】

排泄時間表を見てトイレに誘いかけることは果たして布おむつを使用している意味があるのだろうか？子ども達は布オムツが濡れると「不快」だと感じて自ら訴えに来ているのかという検証を行いました。

＜検証＞

オムツが濡れた際、子ども達自ら保育者に伝えにくるのか？

＜対象クラス＞1歳児クラス15名

＜検証時間＞7時30分～9時）～11時
午睡後15時～17時

＜1週間の検証結果＞

1歳児のこの時期において遊びに夢中になると排尿していても遊びを優先させるため、不快を感じているかどうかは正直わからない部分もありますが、遊びに夢中になっていな

い時間には、子どもから伝えにくる姿があるので濡れた/濡れていないはわかっている様子です。排泄に関して1歳前後で何かしらのサインを出しているがそれが直接排泄自立に向かっている訳ではなく、そのサインに気づき交換することで、また大人が意識して濡れた状態が続かないように「排尿したままでいることの気持ち悪さ」「交換した時の心地よさ」を保育者の声掛けから学んでいき、「濡れたら交換する」「トイレで排泄すること」へと繋がっていくのだと思います。身体の発達昨日も関係し自我の芽生えと排泄自立の時期は大きく関わっていることもわかりました。

＜まとめ＞

布オムツは蒸れずに肌触りが良いだけではなく、便の様子や尿の色などが分かりやすく、その子の体調の変化に気づきやすいです。また、まだ排尿間隔が短い子ども達です。保育園ではオムツをつけての生活は必要不可欠です。乳児にとって生活はなによりも大切に、そして優先されなければならないことです。その1つとして子ども達にとって何が良いかを選択し布オムツにした結果、「1人1人の子どもと向き合う」という事が出来るようになり、強固なる愛着関係が担当と子どもとの間に生まれています。乳児は生活こそが1日のほとんどであること、子ども達が大切にされていると感ずることが出来る機会をよりたくさんつくる事が大切だと感じています。“生活を大切にしてもらう＝わたしを大切にしてくれている”その中での「オムツ交換は子どもとのコミュニケーションであり、おむつ交換の時間は誰にも邪魔されることのない2人っきりですごく空間となっているのです。布オムツを通して排泄交換に時間をかけ、子どもと向き合うことで、人間関係で大切な愛着関係という土台をつくる1つの手段であるのだと思います。

今後の子ども達の土台となる愛着関係をこの乳児期にしっかり作っていきたいと思います。

ラーニングストーリーを実践して

荻野和美（泉山幼稚園） 森山佳織（泉山幼稚園）

香川紗葵（泉山幼稚園） 福多朝子（泉山幼稚園）

はじめに

本園では、保護者会や保育参加、通信を通して、その時期の子どもの育ちや保育で大切にしていることについて発信してきました。しかし、子どもの発達についての理解に差があることや、幼稚園の保育をイメージできていない保護者が増えてきたことを感じました。そこで、より理解を深めてもらえるよう、保育の「見える化」を目指した発信と同時に明日へつながる保育記録・個人記録を大切に、平成27年度4月より、発信と省察記録とをうまく組み合わせ、「ラーニングストーリー」「学びの物語」への取り組みをスタートさせました。

ラーニングストーリーとは

ニュージーランドでもちいられている、写真とエピソードを組み合わせた記録で、子どもの行動に込められた意図や意味を読み取り、一人ひとりの成長の物語を保護者と共有するためのツールである。

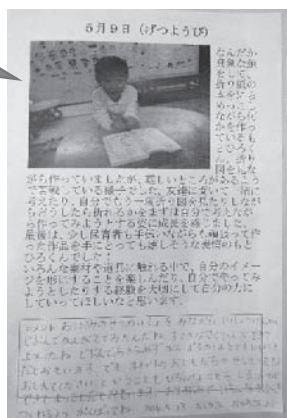
泉山幼稚園のラーニングストーリー

① 子どもの姿を観察する（教育課程をもとに）

※遊びの中の育ち・学びに注目する

② その瞬間の 写真を撮る

③ 子どもの育ちを読み取り、 A5用紙にまとめる



○ポイント○

- ・子どもの成長をとらえた一場面の写真であること
- ・子どもの姿（エピソード）をわかりやすく表現する
- ・保育者の省察を書く（子どもの育ちや学び・次の課題）

保育者の質の向上につながる

○幼児理解の力

- ・子ども達の姿を様々な視点から丁寧に見守る力や肯定的に捉えていく力が高まり、一人ひとりの子ども理解につながる。
- ・子ども達の興味・関心を理解する目を養うことができる。

→環境構成・援助につながる

- ・保護者間、保育者同士で、子どもの育ちや課題を共有できる。

→幼児理解の向上・視点の広がり

○教育課程の面から

- ・子ども一人ひとりの教育課程に則した育ち（姿）をよみとることができる
- その子どもの今の育ちから、次の課題を省察し、援助していくことにつながる。

子どもにとっての ラーニングストーリー

○自己肯定感の高まり

- ・一冊になっていることで、何度も見返すことができ、自分の頑張りと変化を振り返る。

→自分の成長を認識することができる

○興味関心の広がり

- ・いつでも誰でも見られることで、自分が経験したことを思い出す友達に見せる・友達のものを見る

→興味関心の広がり・意欲の向上

○共感してもらえる喜び

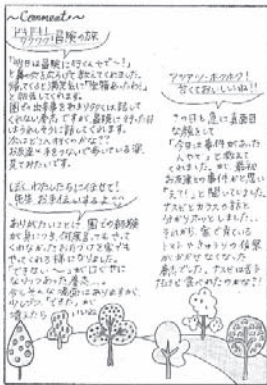
・家族や保育者・友達が読むことで、自分の姿に共感・認め・励ましなどをもらい、「もっと頑張ってみよう!」「またやってみよう」という自信につながる

子どもが大切にされていることを実感→自己肯定感につながる

保護者にとっての ラーニングストーリー

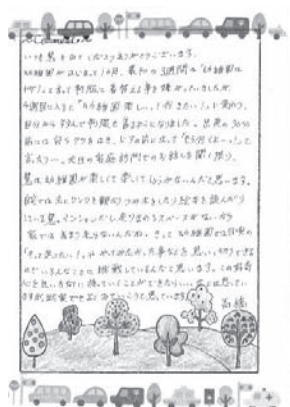
○子どもの姿を前向きにとらえられるようになる

○園と家庭での育ちがにつながる



家でも机を拭きたがるのは、お当番活動の影響だったんですね!

幼稚園から帰ってきたら、毎日公園で鉄棒をしています!



さいごに

泉山幼稚園では、定期的に園内研修を行い、子どもの育ちや保育を語る場があります。研修の中で、自分の言葉で保育を伝えたり、仲間の話を聞いたりすることで、様々な保育者の味方を知り、多様な考え方ができる機会だと感じています。定期的な研修を重ねることで、常に保育者間が同じ方向性をもてるので、経験年数を問わず、泉山幼稚園の一員として、保育を見る目がずれないということは、とても大切なことです。又、登山やプロジェクトアドベンチャーなど、研修旅行でチーム力アップをさせてきました。その保育者間の風通しの良さは、子どもの育ちに困った時、すぐに相談できる仲間がいると心強く思えることにつながっています。そんな背景を土台に、より良い方法を試行錯誤しながら取り組んでいきたいと思っています。

継続させるための工夫!

○製作時間の効率化

- ・誕生カードを組み込む
- ・個人懇談の資料として
- ・行事前の取り組み方



毎月同じ形式にとらわれないことが大切!!

個の育ちと集団の育ちを

○週の振り返りを4つ合わせて

クラス通信に!それを発信する!



個人の育ちは集団の育ちがあつての育ちであることを伝えられる機会となる

王小英 中国・東北師範大学幼児教育学院教授

幸曼玲 台湾・臺北市立大學幼児教育系副教授

Sirene Lim シンガポール・SIM University 専任講師

淵上 孝・文部科学省幼児教育課長（現・高等教育局私学部私学助成課長）

安達 譲・（公財）全日私幼研究機構研究研修委員長（現・研究研修専門委員）

園長のリーダーシップと専門性： 東アジアの動向から学ぶ

今月号の報告記事では、王小英氏、幸曼玲氏、Sirene Lim 氏、文部科学省初等中等教育局幼児教育課長・淵上孝氏（現・高等教育局私学助成課長）、（公財）全日私幼研究機構安達譲前研究研修委員長（現・研究研修専門委員）、コーディネーターに鈴木正敏氏（兵庫教育大学准教授）を迎えたパネルディスカッションの報告記事を掲載いたします。

〔王 小英氏〕

幼稚園の園長には、教育者、リーダー、管理者といった役割があると考えます。台湾とシンガポールでは、園長になるために2年か3年以上の教育者としての経験を必要としています。中国でも、原則的には教育経験が要求されています。また、90%以上の園長先生が、現職の保育者を経ています。しかし少数ですが、行政から指名されて園長先生になる場合もあります。昨年、幼稚園園長の専門性基準の公表がありました。そのため、今後園長になるために、一定の基準に準じて教育的な要求が加わることを想定しています。

園長は幼稚園の魂となり、その素質の高さが幼稚園の質に直接影響していると考えています。この5年間、中国は園長研修に多くの資金を投入しました。都市部の園長は、毎年、2～3回の研修機会があります。農村の園長も、少なくとも年1回の研修

機会があります。このような研修資金は、市の財政が賄います。市の上には省があるため、一部省からも財政をもらえる場合もあります。また、国家レベルでもこのような財政があり、国家から、各省、市に委託し、研修を行うこともあります。このように、今の中国は研修ブームとなっています。また、省の代表者として1年に7～8回ぐらい研修を受ける園長もいます。中国は今、この大きな財政を、幼稚園園長研修や就学前教育に投入し、幼児教育の大きな発展を望んでいます。

〔淵上 孝氏〕

日本でも、就学前の子どもたちに対する期待が高まっています。国全体としてのリソースを振り向けることについて、新制度も含め大きなムーブメントになってきていると思います。幼児期の教育は、その後の子どもたちの学びや育ちの最も根幹となることでありますので、幼児教育でこれまで実践してきたことをさらに生かして、小学校、中学校の教育も変えていくのだという気持ちでなければ子どもたちの成長が支えられないのではないかと思います。幼児期の教育を変えていくという強い気持ちの一つの証拠は、国の教育課程全体をつくっていかれる教育課程部会長の無藤先生（白梅学園大学）が幼児教育部会長もされていることです。これが一つの証拠

でもあり、幼児教育が教育課程全体をつくれるのだということです。

幼児期の教育は、幼稚園のみならず、保育所、認定こども園も含めて、全体としてその質を支えていくことも課題になっていきます。ナショナルセンターや都道府県のセンター、市町村のアドバイザーも、幼稚園で培ってきた教育の質の高さをベースにしながら、それも含めて、保育所、認定こども園の子どもたちの学びを支える仕掛けにできたらと思っています。また、諸外国の先生方からの最先端の知見を借りながら、日本もどんどん先に進んでいければと思います。

[幸 曼玲氏]

幼稚園のリーダーの発展と役割は非常に複雑であり、色々な方面の協力を受けながら発展していきます。幼児教育の発展にとっては、国レベルの財政的、政策的なサポート、そして、大学からのサポート等、様々な支援を受けながら協力していく形が非常に重要だと思います。今後は、自分の園だけが発展していくのではなく、園と園の間で、園と社会とがかかわりながら発展していきますが、OECD で提出されたキー・コンピテンシーという概念も同じだと思います。様々な国の話を聞きましたが、我々の向かう目標には、未来の社会、グローバル化社会に向けて共通点があります。

先ほど安達先生の話聞き、私たちの価値観と園のリーダーシップについての今後の方向性や価値観が一致していることに感心しました。我々東アジアの人々は、チームのコミュニケーションや協力に非常に特徴があり、共通している部分が多いと思います。欧米社会においては、個人の社会ですので、自分に何があっても公表しません。しかし私たち東アジアの人々は、チーム、団体という意識が強くて、皆様の協力を得た中で自分のことを解決していく方向性が伝統的にあります。

[安達 譲氏]

個と集団は相反するのではなくて、個を出そうと思ったときに、集団にいる安心感、それを受けとめ

てくれる集団があって初めて出せるのだと思います。やはり東アジアのチームとしての良さを個に還元し、また個がチームに、となるといいと思います。

[鈴木正敏氏]

東アジア型のリーダーシップは、これからまたチームで考えていく必要があると思いました。見てみると、お互いに共通点が多くあり、中国、台湾、シンガポールの事例も、欧米のものとは違うリーダーシップのあり方が見えてきたような気がします。

また、シンガポールは、それをシステムチックに迅速に進めています。今後、様々なシステムができてくるとは思いますが、システムチックに資質を高める努力というと、それを受けた側の考え方、複雑なお気持ちもあると思います。システムチックに行われていることと現場の先生方の感じ方や、そうした枠組みをつくることでどのような予想ができるか等、Lim 先生からお伺いしたいと思います。

[Sirene Lim 氏]

SPARK 自体は非常にいいものだと私たちは思っていますが、SPARK には七つのカテゴリーがあり、それがばらばらではないかと思われています。それが全体として統合されていくためには、各カテゴリーの歩みがゆっくりとしているため、全体が統合されたものであると認識するのに時間がかかるのではないかと考えています。

こうした制度は小中学校では以前からありましたが、それでも 20 年ぐらいかかっています。小学校は、生徒が 1,000 人規模、先生方の数も 100 人ぐら이가普通ということで、校長先生ですら理解するのが非常に難しかったということです。幼児教育のレベルでは恐らく違った状況となると思いますが、それでも大変ではないかと思っています。

まず、園長にこうした事情を理解していただくことが非常に大事ですが、子どものためにという動機をしっかりと心に刻んでいただきたいと思います。日本のお話を聞いて、文科省、それから園長先生方も、非常にサポートティブだということに感動しました。

シンガポールはアジアですが、西洋のほうを向いて国が進んでいます。そのため日本や他の国とはまた違った、非常に厳しい葛藤を抱えた国であります。園長としても、リーダーとしても、どれだけ西洋を見て、またアジア的なところを保っていくのか、本当にバランスをとることが難しいのです。

本日、多くの先生方のお話を拝聴し、学びの共同体を共通に見ることができました。そのためには、本当になくってはならない人がそこにいないと進まないということが良く分かり、非常に勉強になりました。全世界の幼児教育の発展を祈っています。ありがとうございました。

乳幼児保育実践政策学セミナーの一連の報告については、中国・王小英先生の御講演を呂小耘先生（東京大学大学院博士課程院生）が通訳され、台湾・幸曼玲先生の御講演を王林鋒先生（元・東京大学大学院博士課程院生）が通訳され、シンガポール・Sirene Lim先生の御講演を門田理世先生（西南学院大学教授）が通訳されました。

今回私幼時報 6、7、8月号に掲載された『乳幼児保育実践政策学セミナー①～③』は、中国・王小英先生の御講演（呂小耘先生通訳）の講演録を、私幼時報 9、10、11月号に掲載された『乳幼児保育実践政策学セミナー④～⑥』は、台湾・幸曼玲先生の御講演（王林鋒先生通訳）の講演録を、私幼時報 12、1、2月号

に掲載された『乳幼児保育実践政策学セミナー⑦～⑨』は、シンガポール・Sirene Lim先生の御講演（門田理世先生通訳）の講演録を、私幼時報 3月号に掲載された『乳幼児保育実践政策学セミナー⑩』は、淵上孝文部科学省初等中等教育局幼児教育課長（現・高等教育局私学部私学助成課長）と、安達譲（公財）全日私幼研究機構研究研修委員長（現・研究研修専門委員）の御講演の講演録を、今月号の報告も同じ方々の講演録と通訳を、（公財）全日私幼研究機構がテープ起こしをし、亀山秀郎氏（認定こども園七松幼稚園園長）が要約しました。

※ 乳幼児保育実践政策学セミナー⑦～⑩にて表記に謝りがございました。（誤）Silene Lim → （正）Sirene Lim 謹んでお詫び申し上げます。

第40回「絵本週間」の実施について

（公社）全国学校図書館協議会では、優れた絵本文化の発展と、教育の場や家庭にいっそう絵本読書が定着することを願い毎年3月27日から4月9日までの2週間を「絵本週間」と定めています。

絵本は、幼児や児童にとって豊かな情操を育むうえで欠くことのできない文化財であり、幼児期・児童期における絵本読書は、生涯における読書生活を形成する原点となります。

この機会に園や家庭で多くの絵本に触れてみてはいかがでしょうか。

●実施期間：平成29年3月27日～4月9日

保育力の向上のために

資質向上の取組の証明に

積極的に研修に参加し、その履歴を研修ハンドブックに記録しておきましょう。

監修

公益財団法人 全日本私立幼稚園幼児教育研究機構

新版 研修ハンドブック

4103501 **756円**（本体700円）

- B6判
- 120ページ
- ビニールカバー入り

ご用命はお近くの書店、またはワンダー販売会社まで。

株式会社 世界文化社 ワンダー事業本部
TEL03-3262-5128





はじめてみませんか

寄付金募集

寄付金募集の際には日本私立学校振興・共済事業団の

受配者指定寄付金制度

をご活用ください

受配者指定寄付金制度を利用して、学校法人立の私立幼稚園へ寄付を行うと、寄付者（企業・法人）は法人税法上の優遇措置として**全額損金算入**することができます。

ご利用には一定の要件があります
まずは、下記までお気軽にご相談ください

日本私立学校振興・共済事業団
助成部 寄付金課
〒102-8145
東京都千代田区富士見 1-10-12
TEL 03-3230-7317・7318・7320
e:mail kifukin@shigaku.go.jp
HP-URL <http://www.shigaku.go.jp/>

寄付金は私立学校の
重要な収入源です！

※子ども子育て支援施設（学校法人が設置する幼保連携型認定こども園）支援のための寄付金もこちらの制度の対象となります

○私立幼稚園に対する助成状況調査

平成28年度 経常費等補助単価

都道府県名		学法・学法予定	学法・学法予定以外の金額、名称	
北海道		179,699		
東北	青森	180,544		
	岩手	178,491		
	宮城	176,217	72,073	教育振興費
	秋田	181,663		
	山形	184,154		
	福島	181,479	60,490	運営費
関東	茨城	196,144		
	栃木	185,400	39,100	教材費等補助
	群馬	198,132	83,880	経常費
	埼玉	180,939	49,540	運営費
	千葉	185,144	1 園 823 万円	教育振興事業費
	新潟	196,842		
東海・北陸	山梨	184,795		
	東京	191,317	44,635	教育振興事業費
	神奈川	152,505	37,620	経常費
	富山	195,743	1 園 40 万円	設備整備費
	石川	197,379		
	福井	178,235		
近畿	長野	193,030	16,000	教育活動事業費
	岐阜	※ 232,050		
	静岡	192,394		
	愛知	180,544	71,500	経常費
	三重	180,531		
	滋賀	168,000		
中国	京都	205,485	50,324	教材費等補助
	兵庫	187,832	51,700	経常費
	奈良	189,500		
	和歌山	186,050		
	大阪	180,544	54,100	教育研究費等補助
	鳥取	163,229		
四国	島根	170,220		
	岡山	172,940		
	広島	193,306		
	山口	186,000		
	徳島	186,644		
	香川	186,738		
九州	愛媛	181,544		
	高知	180,544		
	福岡	191,044	30,000	経常費
	佐賀	184,827		
	長崎	182,149		
	熊本	181,709		
沖縄	大分	180,544		
	宮崎	180,576		
	鹿児島	182,944		
	沖縄	181,234		

注) 金額は園児1人あたり年額(単位:円) / 当初予算・補正見込み分を含む。

注) 都道府県私学担当課からの報告による。平成28年5月1日現在、全日私幼連調べ

※ 特別補助を含む単価

平成28年度 私立幼稚園に対する都道府県補助状況

都道府県名	費目	金額（千円）		対象・単価・条件等（平成28年度）
		27年度	28年度	
北海道	管理運営対策費	8,529,220	6,685,702	学法・園児1人179,699円
	管理運営対策費（新制度移行分）	110,706	174,753	新制度移行園に対する継続補助
	管理運営対策費（特別支援教育対策推進費）	639,065	748,030	3人以上就園の場合：589,000円／人
	子育て支援対策事業費	66,139	109,342	幼児教育の質の向上のための環境整備
	耐震化促進事業	178,905	1,767,276	耐震改築、認定こども園（予定含む）
青森	経常費	704,819	591,643	学法・園児1人180,544円
	特別支援教育費	51,744	54,096	園児2人以上園児1人784,000円
		7,448	9,016	園児1人392,000円
	特色教育支援経費	102,759	136,610	預かり保育、子育て支援活動
	被災幼児生徒授業料等減免事業費	112,600	1,188	被災園児に対する保育料等の減免措置
	私立学校耐震化促進事業	—	103,272	耐震診断・耐震改修等に要する経費
	認定こども園耐震化促進事業費	117,882	350,000	学法運営の認定こども園の耐震改修等経費
	認定こども園整備事業	—	202,604	修理等に要する経費
	私立学校振興活動費補助	100	100	私幼団体
	教職員等研修事業費	800	800	私幼団体
	緊急環境整備補助	14,623	13,231	幼児教育の質の向上のための環境整備
岩手	運営費	1,065,076	979,202	学法・学法以外・園児1人178,491円
	特別支援教育費	125,440	127,008	学法・2人以上園児1人784,000円 学法・1人園児1人382,000円
	特色ある幼児教育等推進事業			
	財務状況改善	—	500	学法・認定こども園（幼稚園からの移行）
	一種免許状保有促進	40	120	学法・認定こども園（幼稚園からの移行）
	特色ある幼児教育振興	28,738	32,842	学法以外・認定こども園（幼稚園からの移行）
	教育改革推進特別経費			
	預かり保育促進	110,360	109,320	学法
	子育て支援活動の推進	70,760	74,120	学法
宮城	運営費	4,234,508	4,219,310	学法・園児1人176,217円
	教育振興費	94,419	89,907	学法以外・園児1人72,073円
	特別支援教育教育費	258,720	290,080	学法・2人以上園児1人784,000円
	特別支援教育教育費	9,408	10,192	学法・学法以外1人園児1人392,000円
	教育改革推進特別経費	319,770	262,160	学法・預かり保育、防災教育推進
	預かり保育推進事業	11,105	10,370	学法以外・預かり保育、防災教育推進
	私立学校授業料等軽減特別事業	1,044,048	1,400,000	震災被災者の保育料、入園料、施設整備費減免（他校種分を含む）
	被災私立高校等教育環境整備支援特別事業	178,005	178,000	震災の影響による収入減少額の8割を補助（他校種分を含む）
	私立学校施設設備災害復旧支援事業	302	74,992	震災に起因する施設設備被害の復旧工事（他校種分を含む）
	退職手当資金給付事業	83,890	86,955	
秋田	運営費	259,097	262,685	学法、園児1人181,663円
	特別支援教育費	62,777	70,298	学法、社福・2人以上園児1人784,000円 学法、社福・1人園児1人392,000円 その他立・園児1人65,000円
	預かり保育推進事業費	28,520	35,260	預かり保育
	認定こども園拡充事業	879	876	認定こども園サポート事業等
	すこやか子育て支援事業	1,099,012	1,051,929	他学種含む・保育料補助等
山形	経常費（私立学校一般補助金）	1,650,185	1,490,352	学法・園児1人184,154円
	特別支援教育運営費	392	392	学法以外・392,000円～1,040,000円
	耐震化促進事業費	257,779	4,170	耐震補強1/3、新築・改築1/10
	被災児童生徒等就学支援事業費	1,076	4,922	被災園児に対する入園料、保育料の減免措置
	幼児教育の質の向上のための緊急環境整備事業	19,008	20,925	遊具、教具等の整備1/2（上限100万）
福島	運営費	2,441,468	2,336,309	学法・園児1人181,479円
	子育て支援推進事業	263,157	267,320	預かり保育
	心身障がい児教育費	208,443	235,984	学法・園児1人392,000円、2人以上784,000円
	教育振興事業	42,962	42,903	学法以外・運営費補助園児1人60,490円、在籍園児1人392,000円、2人以上784,000円
	設備整備事業	440	57,150	災害復旧経費
	被災園児就園支援事業	31,420	73,649	被災園の保育料補助
	被災私立学校復興支援事業	347,391	364,164	減収分の一部を補助
	認定こども園支援事業	12,677	62,000	子育て支援
	未来の子どもを守る食の安全確保事業	697	1,696	給食食材の放射性物質測定機器の整備等
	未来を担う子どもたちの安心就学環境支援	—	10,000	施設の耐震化
	心と体いきいき事業	14,340	21,600	園児の体力向上等
	認定こども園等の環境整備事業	23,750	30,300	環境整備

都道府県名	費目	金額（千円）		対象・単価・条件等（平成 28 年度）
		27 年度	28 年度	
茨 城	経常費	1,408,276	1,539,558	学法・園児 1 人 196,144 円
	預かり保育推進事業費	123,026	61,158	学法
	特別支援教育補助事業費	276,752	306,936	学法・2 人以上園児 1 人 784,000 円
				学法・1 人園児 1 人 392,000 円
	被災児童生徒等授業料減免補助	—	1,583	被災園児保育料等減免事業
	認定こども園等教育支援体制整備事業	93,064	65,000	質の高い幼児教育・保育を確保するための環境整備事業
	認定こども園等整備事業	482,555	699,249	認定こども園等の施設整備補助
	幼稚園耐震化促進事業	73,507	85,680	耐震化促進のための補助
栃 木	幼児教育等サポートスタッフ配置支援事業	—	63,350	新制度園・教育体制充実等のための教育補助員配置補助・1 園 700,000 円以内
	運営費	3,774,869	3,163,326	学法・園児 1 人 185,400 円
	教材費等補助	3,051	2,151	学法以外・園児 1 人 39,100 円
	地域子育て推進事業費	203,330	169,440	子育て支援に対する助成
	特別支援教育費	423,948	551,544	学法・2 人以上園児 1 人 784,000 円
				上記以外・園児 1 人 392,000 円
	被災幼児保育料等減免補助	195	1,142	被災園児保育料等減免事業
	耐震化促進事業費	609,167	628,863	耐震化事業に対する補助
群 馬	緊急環境整備事業	61,813	66,014	遊具・研修等
	新制度移行臨時補助金	—	32,000	新制度園・教育環境の整備充実
	経常費	1,697,844	1,360,342	学法・園児 1 人 198,132 円 学法以外・園児 1 人 83,880 円
	預かり保育推進事業費	57,078	44,940	学法・学法以外、預かり保育 33,900 千円、長期休業日預かり保育 11,040 千円
	子育て支援推進事業費	18,197	15,000	私幼
	特別支援教育経費	50,635	55,664	
	耐震診断促進費	306	2,777	
	耐震化促進事業費	81,923	126,500	認定こども園施設交付金事業
埼 玉	幼児教育質の向上のための緊急環境整備事業	13,037	33,046	教育支援体制整備
	移行園支援特別補助	—	30,000	新制度園・移行園補助
	運営費	18,496,144	18,238,879	学法・園児 1 人 180,939 円（満 3 歳児 96,655 円）
				学法以外・園児 1 人 49,540 円（満 3 歳児 24,770 円）
	保育料軽減事業	37,884	64,158	家計急変世帯：園児 1 人 222,000 円
	被災児童生徒授業料減免事業	5,548	11,757	家計急変世帯：園児 1 人 359,782 円
	耐震改修事業費	239,448	334,221	耐震改修（学法）
	特別支援教育費	686,000	824,180	学法・2 人以上園児 1 人 784,000 円（5/1 又は 10/1 在園 392,000 円）
千 葉		13,720	13,720	学法以外、学法 1 人園児 1 人 392,000 円（5/1 又は 10/1 在園 196,000 円）
	教育研究事業費	590	590	私幼団体
	子育て支援事業	11,965	11,965	子育て支援事業（幼稚園）、相談事業（私幼団体）
	幼児教育質の向上のための緊急環境整備事業	70,094	112,970	
	新規採用教員研修促進事業費	4,005	4,005	私幼団体
	認定こども園移行耐震化促進事業費	470,979	572,050	改築・増改築（認定こども園・移行予定園）
	経常費	13,793,384	13,303,740	学法・園児 1 人 185,144 円
	特別支援教育経費	373,245	427,000	学法・2 人以上園児 1 人 784,000 円
新 潟				学法・1 人園児 1 人 392,000 円
	「親と子の育ちの場」推進経費	362,984	380,000	学法・預かり保育、子育て支援活動
	教育振興事業	128,304	147,816	学法以外・1 園 8,230,000 円
	特別支援教育振興事業	10,584	11,300	学法以外・2 人以上園児 1 人 392,000 円
				学法以外・1 人園児 1 人 196,000 円
	被災者・避難者保育料等減免補助	232	650	
	耐震化緊急促進事業	634,897	940,000	改築、耐震補強、耐震診断（他校種含む）
	幼児教育の質の向上のための環境整備事業	79,196	90,000	学法・幼稚園（1/3 上限有）認定こども園（1/2 上限有）
山 梨	保育教諭確保のため幼稚園教諭免許状取得支援事業	479	1,871	認定こども園・受講料補助
	振興補助	1,253,300	946,001	学法・園児 1 人 196,842 円 新制度移行園・園児 1 人 18,000 円
	教育改革推進特別経費	186,287	186,326	預かり保育
	特別支援教育費	78,890	91,728	学法・2 人以上園児 1 人 784,000 円
山 梨				学法・1 人園児 1 人 392,000 円
	子育て支援推進事業	27,224	28,700	子育て支援事業（子育て相談等）幼稚園 400,000 円 認定こども園 500,000 円
	運営費	606,183	541,348	学法・園児 1 人 184,795 円
	特別支援教育費	51,940	43,512	学法・2 人以上園児 1 人 784,000 円
				学法・1 人以上園児 1 人 196,000 円

都道府県名	費目	金額（千円）		対象・単価・条件等（平成 28 年度）
		27 年度	28 年度	
東京都	経常費	18,389,174	18,268,706	学法・学法予定・園児 1 人 191,317 円
	教育振興事業費	1,155,713	1,032,420	学法以外・園児 1 人 44,635 円
	特別支援学校等経常費	1,466,850	1,751,531	学法・学法予定・2 人以上園児 1 人 784,000 円
	特別支援教育事業費	178,360	199,920	全幼・1 人以上園児 1 人 392,000 円
	安全対策促進事業費	4,306,683	8,756,237	全幼・防災機能の強化等（小中高専各を含む）
	預かり保育推進補助	1,222,637	1,131,386	全幼・教育条件の維持向上等
	園児保護者負担軽減事業費	4,681,008	5,355,063	園児 1 人 28,800 ～ 74,400 円
	教育研究費	71,129	72,905	教職員の資質向上
	省エネ設備等導入事業費	209,888	300,000	全幼・CO2 削減
	認定こども園整備費等補助	306,735	799,808	教育、保育等の総合的なサービス提供の推進
	環境整備費	122,133	15,781	全幼・幼児教育の質向上の環境緊急整備
	被災生徒等臨時支援金	2,403	3,007	東日本大震災で被災し都内私幼に転入等した園児・保護者（小中高専を含む）
	被災生徒等授業料等減免事業	63,369	112,701	東日本大震災に起因する家計急変園児への授業料等減免（小中高専各を含む）
	施設型給付費負担金	2,722,316	3,665,233	施設型給付を受ける園に対し、学校教育や保育等の量の拡充を図る（区市町村）
	私立幼稚園等一時預かり事業費補助	51,614	69,289	幼稚園型一時預かり事業費を私立幼稚園等に補助（区市町村）
	特色教育等推進補助	35,041	53,660	新制度移行園に対する従来の経常費（特別補助）事業（区市町村）
	認定こども園新制度移行園支援特別補助	233,438	198,234	新制度への円滑な移行を目的（区市町村）
神奈川県	経常費	14,397,539	14,168,412	学法、学法予定・園児 1 人 152,505 円
				学法、学法予定以外・園児 1 人 37,620 円
	預かり保育推進費	551,120	665,380	預かり保育
	地域開放推進費	164,783	191,000	学法、学法予定・園地園舎開放
	特別支援教育費	1,581,720	1,591,520	学法、学法予定・2 人以上園児 1 人 784,000 円
				学法、学法予定・1 人園児 1 人 392,000 円
	施設耐震診断調査費	1,010	9,972	
富山県	認定こども園移行耐震化促進事業	375,111	546,023	移行園に対し耐震工事費等一部補助
	緊急環境整備費	126,714	150,921	遊具等整備
	経常費	724,662	610,131	学法・園児 1 人 195,743 円
	教育振興費	19,491	30,211	預かり保育、障害児受入れ
	設備整備費	400	400	学法以外・1 園 400,000 円
	教育環境整備事業費	500	3,218	学法・1 園限度 500,000 円
	園舎リフレッシュ事業費	4,050	5,000	増改築、大規模改造
	保育料軽減事業費	13,570	16,910	保育料補助
	振興対策	720	720	団体補助
	振興会運営費	1,170	1,170	団体補助
	地震対策緊急整備事業費	—	39,884	国庫補助耐震化経費 1/6 上乗せ補助
	教育支援体制整備事業	8,239	30,000	幼稚園 1/3、認定こども園 1/2
	施設型給付費県費補助	—	30,000	認定こども園・増改築、大規模修繕等
	施設型給付費補助金	152,068	272,276	1 号認定子ども分
	施設型給付費負担金	133,991	258,849	1 号認定子ども分
石川県	経常費	1,457,276	1,311,582	学法・園児 1 人 197,379 円
	障害児就園対策費	93,296	101,920	学法・2 人以上園児 1 人 784,000 円
	預かり保育推進費	33,402	28,929	学法・預かり保育
	教育環境整備費	30,949	6,000	学法・耐震補強、園舎改修等
	子育て支援推進費	8,271	9,600	学法・人件費等補助：限度額 200,000 円
	私学振興会資金利子補給金	56	157	学法・利子補給
	団体補助	4,300	3,300	団体補助
	子育て支援施設整備費	—	5,725	施設整備
	幼児教育緊急環境整備	8,282	3,524	遊具等整備
	保育士資格取得支援事業	—	1,106	受講料等
	教育振興費	435,514	375,522	学法・園児 1 人 178,235 円
	特別支援教育事業費	99,815	109,510	学法・2 人以上園児 1 人 784,000 円
福井県	預かり保育推進事業費	63,797	53,980	学法・預かり保育
	2 歳児受入推進補助費	30,000	36,000	2 歳児の受入にあたり専任教員等がいる場合
	耐震化推進事業	13,850	35,653	耐震診断、耐震補強、耐震改築
	教育振興費	1,816,589	1,826,967	学法・園児 1 人 193,030 円
	教育活動事業	48	64	学法以外（私幼団体）園児一人当たり 16,000 円
長野県	施設型給付費負担金	134,378	288,944	
	認定こども園等の環境整備事業補助	108,095	126,286	認定こども園への円滑な移行補助

都道府県名	費目	金額（千円）		対象・単価・条件等（平成 28 年度）
		27 年度	28 年度	
岐阜県	教育振興費	3,595,288	4,177,019	学法・園児 1 人 232,050 円（※ 特別補助含む）
	緊急環境整備事業	4,200	9,000	幼児教育の質向上
	連合会補助	270	270	団体補助
	P T A 連合会補助	180	180	団体補助
	子育て支援事業	360	360	団体補助（子育てフォーラム等）
静岡県	経常費	6,753,275	6,455,600	学法・園児 1 人 192,394 円
	障害児教育費	176,400	193,648	学法・2 人以上園児 1 人 784,000 円
	子育て支援事業費	113,325	120,000	預かり保育：学法
		7,570	8,100	子育て支援：学法・上限 300,000 円
	地震対策緊急整備事業費	54,590	300,000	学法・耐震園舎改築、補強（他学校種含む）
	緊急環境整備事業	47,898	45,000	遊具等整備補助
	教育環境整備事業	—	1,000	幼稚園型認定こども園に移行する園への施設整備費補助
愛知県	経常費	14,943,890	14,747,161	学法・園児 1 人 180,544 円
	特別支援教育費	735,105	816,537	学法以外・園児 1 人 71,500 円
				学法・園児 1 人 784,000 円
				学法以外・園児 1 人 274,400 円
	施設整備費補助	28,554	1,000,000	幼小中高総額、耐震改築・大規模改造、アスベスト対策（27 年度額は幼稚園分）
	授業料等軽減補助	6,705	6,486	第 3 子以降の満 3 歳児の授業料等無料化
	私学団体補助	220	200	団体補助
	借入金償還補助	80,868	15,183	施設設備整備費
三重県	教育支援体制整備事業費	33,560	50,000	認定こども園 1/2、幼稚園 1/3
	振興補助	1,792,607	1,673,252	学法・園児 1 人 180,531 円
	被災児童等保育料等減免補助	—	268	保育料・入園料の軽減
	心身障がい児助成事業	74,480	84,280	人件費・教育研費・管理費助成
	教育改革推進特別補助	19,230	18,988	子育て支援事業に対する人件費・教育研費・管理経費等
	預かり保育等推進事業	32,858	23,255	人件費・教育研費・管理費助成
	園舎等耐震化整備費補助	—	1,668	園舎等耐震化等に対する助成
	緊急環境整備事業補助	15,658	10,278	学法・遊具等整備補助
滋賀県	振興補助	387,496	338,064	学法、学法以外・園児 1 人 168,000 円
	特別支援教育事業費	80,464	94,125	学法・2 人以上園児 1 人 753,000 円
京都府	運営費	4,746,338	4,660,802	学法・園児 1 人 205,485 円
	教材費等補助	17,224	17,110	学法以外・園児 1 人 50,324 円
	幼児教育振興補助	928	800	学法以外
	保育料軽減補助	7,709	9,374	学法以外
	心身障害児教育費	500,976	500,192	学法・2 人以上園児 1 人 784,000 円
	同時在園保育料減免事業	35,659	36,962	同時在園（2 人以上）
	預かり保育推進特別補助	330,120	347,680	学法
	未入園児一時保育事業費	24,717	26,600	学法・1 園 200,000 円、学法以外・1 園 100,000 円
	施設耐震診断調査費	5,616	11,940	耐震診断 2/3
	施設緊急耐震化支援事業費	45,782	39,421	耐震補強 1/6 以内
	保育料減免緊急支援事業費	543	1,500	減免事業に要する経費の 3/4 以内
	被災幼児児童生徒授業料減免事業	189	—	東日本大震災被災児の保育料等の減免
	子育て環境整備事業	91,606	55,825	移行予定園の増改築等に要する経費 1/2
	経常費	5,564,200	5,152,341	学法・園児 1 人 187,832 円
兵庫県				学法以外・園児 1 人 51,700 円
	経常費特別補助（預かり保育推進）	438,810	462,770	預かり保育推進
	認定こども園への移行促進事業	50,615	30,000	認定こども園・教職員配置補助
	認定こども園特色教育推進事業	75,515	75,000	認定こども園・特色教育補助
	預かり保育延長促進事業	1,500	6,000	預かり保育：平日 19 時に加えて 1 時間以上延長（教員 2 名以上）
	長時間等預かり保育推進事業	79,500	81,159	預かり保育：早朝・夕方、休業日
	親子学級開設費	31,500	32,760	
	特別支援教育振興費	235,200	238,728	
	地域わくわく陽だまり活動事業	51,490	45,560	在宅幼児に対する特色ある幼児教育の実施
	2 歳児子育て応援事業	128,184	167,072	
	乳幼児子育て応援事業	44,850	44,850	乳幼児子育て応援事業（子育てサロン）
	高校生保育体験推進事業	1,882	1,800	
	保育料軽減事業	236,249	412,000	第 2.3 子以降の保育料軽減補助（保育所含む）
	幼児保育料軽減臨時特別補助事業	240	2,400	東日本大震災被災幼児の保育料減免
	幼児教育の質の向上のための緊急環境整備事業	62,872	187,674	遊具等整備補助
	預かり保育特別支援推進事業	49,000	50,000	

都道府県名	費目	金額（千円）		対象・単価・条件等（平成28年度）
		27年度	28年度	
奈良	教育経常費	1,123,389	1,168,268	学法・園児1人189,500円
	心身障害児教育振興費	56,453	61,152	心身障害児の就園促進
	教育改革推進特別経費	17,035	27,450	子育て支援の促進
	運動場芝生化補助	2,008	5,400	体力向上の目的
	耐震化緊急促進事業	50,000	90,000	児童の安全確保
	幼児教育の質の向上のための環境整備事業	7,531	10,000	質の高い環境のための体制整備
和歌山	経常費	965,574	868,251	園児1人186,050円
	障害児教育教育費	23,939	31,752	2人以上園児1人784,000円 1人以上園児1人392,000円
	預かり保育推進事業	72,960	61,620	預かり保育
	教育支援体制整備事業	999	2,600	遊具等環境整備
	子育て支援特別対策	91,657	612,999	学法以外・認定こども園の施設整備費補助
	認定こども園施設整備交付金	207,350	126,614	学法以外・認定こども園の教育機能部分の施設整備補助
	教育支援体制整備事業	7,201	6,650	学法以外・遊具等環境整備
	幼保連携型認定こども園障害児教育教育費	14,896	32,144	2人以上園児1人784,000円 1人以上園児1人392,000円
大阪	経常費	14,203,363	13,376,445	学法・学法予定・園児1人180,544円、3歳児特別13,500円
	教育研究費等補助	24,848	16,550	学法以外・園児1人54,100円、3歳児特別4,000円
	特別支援教育費	772,240	1,062,712	園児1人392,000円2人以上園児1人784,000円
	キンダーカウンセラー事業	35,000	40,750	
	耐震化緊急対策事業費	300,051	519,413	他学種を含む
	非構造材耐震対策促進事業	8	100,034	他学種を含む
	預かり保育事業	631,716	621,244	学校・学法以外
	預かり保育に係る補助事業（移行支援型）	246,510	431,000	認定こども園移行園
鳥取	運営費	371,183	359,756	学法・園児1人163,229円
	子育て支援・預かり保育推進事業	52,315	71,870	預かり保育、子育て支援活動
	特別支援教育研究推進事業	53,748	56,448	1人以上園児1人784,000円
	同時在園保育料軽減事業	5,794	5,253	同時在園、2人目の保育料の1/3（保育料の1/2減額が限度）
島根	振興費	79,981	31,923	学法・園児1人170,220円
	施設型給付費補助	16,869	69,981	新制度移行園
岡山	経常費	814,183	776,503	学法・園児1人172,940円
	教育改革等推進補助	84,907	82,908	預かり保育、子育て支援活動、特別支援教育の推進
	認定こども園整備事業費補助金	—	50,995	施設整備補助
	耐震化整備事業	31,804	309,352	認定こども園移行園への耐震化
	幼児教育の質の向上のための緊急環境整備事業	7,958	6,183	遊具等環境整備
広島	経常費	5,157,651	4,934,758	学法・園児1人193,306円
	幼児教育の質向上環境整備事業	9,718	17,908	教育支援体制の整備
	耐震化促進事業	439,727	346,736	認定こども園移行園への耐震化
	耐震化緊急促進事業	1,416	38,949	耐震補強工事の一部経費を補助
山口	運営費	1,870,602	1,602,762	学法・園児1人186,000円
	預かりサポート推進事業	302,368	337,174	預かり保育、休業日預かり保育、特別支援教育
	地域子育て支援事業	20,552	21,490	地域開放・1園1,000,000円限度
	耐震化促進事業	12,719	114,215	耐震診断、補強・改築工事
	耐震化促進利子補給事業	475	1,235	耐震化工事に対する利子補給
	教職員研修補助	147	147	私幼団体（教職員研修事業補助）
	教育支援体制整備事業	498	48,484	環境整備等
	保育教諭確保のための幼稚園教諭免許状取得支援	—	498	免許状の取得
徳島	運営費	201,845	150,995	学法・園児1人186,644円
	幼児教育の質の向上のための緊急環境整備事業	2,556	—	
香川	経常費	930,216	895,478	学法・園児1人186,738円
	特色教育チャレンジ支援事業	75,061	108,860	学法・預かり保育、子育て支援等
	特別支援教育費	61,152	70,560	学法・2人以上園児1人784,000円
	認定こども園整備事業	84,767	10,000	学法・学法以外・認定こども園設置促進
	耐震化促進	3,015	17,312	耐震化促進
	教員研修費	27	45	学法・学法以外
	連盟補助	600	600	私幼団体
愛媛	運営費	1,857,334	1,705,090	学法・園児1人181,544円（満3歳児108,927円）
	（特別支援教育） 子育て総合支援事業	103,190	97,310	学法・2人以上園児1人392,000円、1人以上園児1人181,544円 学法・預かり保育、子育て相談、園舎開放等
高知	運営費	264,675	140,002	学法・園児1人180,544円
	子育て支援推進事業費	54,174	53,114	学法・子育て支援事業
	特別支援教育費	25,872	54,096	学法・2人以上園児1人784,000円 学法・1人園児1人392,000円
	耐震化促進事業費	1,681	—	耐震対策
	耐震診断事業費補助	—	1,872	学法以外等
	緊急環境整備事業補助	5,250	6,370	遊具等整備助成
	保育料減免補助	—	36	東日本大震災被災園児の就園料等減免

都道府県名	費目	金額（千円）		対象・単価・条件等（平成 28 年度）
		27 年度	28 年度	
福岡	経常費	10,861,824	10,445,506	学法・園児 1 人 191,044 円
	（特別支援教育加算）	(192,080)	(150,136)	学法・学法予定・1 人以上園児 1 人 392,000 円
	経常費特別補助（教育改革推進特別経費）	176,110	99,320	子育て支援活動の推進 80,000 円～ 1,380,000 円／1 園
	教育振興事業費	77,327	66,090	教育条件の維持向上及び保護者の負担軽減
	保育料軽減	—	119	東日本大震災幼児の保育料軽減
	設備費補助	54,639	57,713	幼児教育の質向上のため経費の一部を補助（1/2・1/3）
	振興協会補助	9,950	9,643	私幼団体（研修事業補助）
	耐震化促進補助	4,639	524,215	耐震化に対する補助（H28 は幼小中高含む予算）
	経常費特別補助（新制度移行幼稚園支援）	83,199	122,009	保護者に対する教材費補助 8,000 円体験教育推進加算 300,000 円（学法）
佐賀	教育振興事業費	12,172		特別支援教育加算 392,000 円（学法）補助（H28 は教育振興事業費を含む予算）
	運営費	697,722	642,373	学法・園児 1 人 184,827 円
	特別支援教育費	88,162	125,440	学法・2 人以上園児 1 人 784,000 円
				学法・1 人園児 1 人 392,000 円
	教育改革推進特別経費	106,927	139,611	預かり保育、子育て支援
	私立学校指導者研修事業費	1,379	2,500	研修費
	教育振興団体補助	25,595	26,070	団体補助
	教育振興費	24,291	26,803	幼児教育の質向上のため経費の一部を補助
長崎	教育振興費	1,153,375	1,070,741	学法・園児 1 人 182,149 円
	同時在園負担軽減補助	9,839	—	
	特別支援教育費	83,147	98,784	学法・2 人以上園児 1 人 784,000 円
	預かり保育推進事業費	57,188	22,920	学法
	子育て支援活動推進事業費	47,282	70,000	学法・幼稚園 1,600,000 円上限、認定こども園 2,000,000 円上限
	被災幼児保育料等減免事業費	120	120	被災児童の保育料等
	幼児教育質向上のための緊急環境整備事業	37,997	68,000	幼稚園 666,000 円上限、認定こども園 1,000,000 円上限
熊本	経常費	1,690,137	1,342,487	学法・園児 1 人 181,709 円
	特別支援教育経費	147,328	149,352	学法・2 人以上園児 1 人 784,000 円以内
				学法・1 人園児 1 人 392,000 円以内
	子育て支援事業	68,319	49,200	学法・預かり保育、子育て支援
	退職資金給付事業補助	61,310	61,310	団体補助
	連合会研修費	715	679	団体補助
	耐震化促進事業	24,384	108,847	耐震診断、耐震補強工事、耐震改築工事
	保育教諭確保のための幼稚園免許取得支援事業	—	1,966	受講料等補助
	認定こども園等における質の向上のための研修支援事業	—	905	研修費用の一部補助
大分	運営費（一般）	820,024	805,505	学法・園児 1 人 180,544 円
	運営費（特別支援教育費）	61,152	68,208	学法・2 人以上園児 1 人 784,000 円
				学法・1 人園児 1 人 392,000 円
	運営費（教育改革推進特別補助）	42,764	47,550	預かり保育、子育て支援
	団体補助	571	1,143	研修費
	保育料減免補助	10,400	11,130	2 人以上同時在園減免
宮崎	振興費	471,499	438,719	学法・園児 1 人 180,576 円
	教育改革推進特別経費補助事業	3,644	4,000	補助対象経費が 20 万円以上、補助率 1/2
	特別支援教育経費補助事業	10,780	49,784	1 人就園・専任職員配置有 3,136 千円、専任職員配置無 1,960 千円（県単）
				2 人以上就園・専任職員配置有 26,656 千円、専任職員配置無 18,032 千円（国 1/2、県 1/2）
	預かり保育推進事業	31,616	39,340	
	東日本大震災被災幼児幼稚園就園支援事業	172	1,410	入園料・保育料の減免
鹿児島	運営費	1,804,303	1,599,585	学法・園児 1 人 182,944 円
	運営費特別補助	380,067	439,985	学法・預かり保育、特別支援教育
	幼施設耐震診断促進事業	1,181	2,739	耐震診断費用助成
	耐震化促進事業	7,012	15,642	耐震改修等費用助成
沖縄	運営費	705,265	736,717	学法・園児 1 人 181,234 円
	特別補助（魅力ある私立学校づくり推進事業補助）	96,474	105,563	学法・預かり保育、子育て支援
	特別支援教育補助	8,036	17,640	学法・2 人以上園児 1 人 784,000 円
				全幼・1 人園児 1 人 392,000 円
	被災生徒等授業料等軽減補助	0	309	被災児童の保育料等
	教育支援体制整備補助	4,490	6,919	幼児教育の質の向上のための環境の緊急整備
	読書環境整備事業補助	24,463	25,247	絵本等の整備
	子どものための教育・保育給付費	23,852	27,914	新制度移行園に対する補助

注）都道府県私学担当課からの報告による、平成 28 年 5 月 1 日現在、全日私幼連調べ

注）平成 27 年度額は実績分。平成 28 年度額は当初予算案・補正見込み分を含む

注）日本私立学校振興・共済事業団・退職財団・退職社団および融資機関に関するものは除く

注）各項目の空欄は、5 月 1 日以降の補正予算で確定予定のため

震災から6年たって・・・

大震災及び原発事故から6年が経過し、とうとう4月から幼稚園の園児たちは全員、震災後に生まれた子どもたちばかりになります。2011年3月の震災直後の卒園児たちが、今春小学校を卒業し、4月から中学生になるという現実を前に、時の流れの早さを感慨深く思います。振り返れば、誰も経験したことのない放射能汚染をはじめ、次々と出てくる不安を教職員や当時の保護者と共に乗り越えてまいりました。その際、全国の私立幼稚園団体をはじめ、善意の団体から寄せられた、義捐金や励ましのメッセージに大変力づけられたことへの感謝の気持ちを、風化させてしまってはならないと改めて感じております。この6年間で子どもたちを取り巻く環境は、大きく変化していますが、それ以上に、子どもたちは日々成長し、体だけでなく心も大きく育っていると確信しています。

先日、1人の保護者から素敵なエピソードを伺いました。「ママ！僕がママのお腹にいるとき、『こころ』をくれてありがとう。」この言葉を年中の息子から言われた時、思わず涙が出てきた・・・というものです。

新制度施行から2年が過ぎました。まだまだ制度の充実に向けて、取り組むべき課題は多くあると思います。しかし、保育現場で実際に子どもたちと関わる保育者として、本当に大切なことは何か？主人公はいつも子どもたち一人ひとりであることを忘れないで、これからも大切な宝物である子どもたちと、丁寧に向き合っていきたいと思います。

((公社) 福島県私立幼稚園・認定こども園連合会広報委員、白河市・白河カトリック幼稚園／山崎輝美)

人材確保に向けての取り組み

広島県私立幼稚園連盟では、教職員等の人材確保を重要課題とし、取り組みを強化しています。

これまで、養成校との連絡協議会や学生に幼稚園を知ってもらうための取り組み「オープンキンダーガーデン」を実施していましたが、思うように人材の確保に結びつかず、歯がゆい思いをしていました。そこで、人材確保特別委員会を設置して平成29年度からは就職説明会の開催、無料職業紹介事業を開始することとなりました。

これらの事業実施に向けて、先駆的に実施されている全国の幼稚園団体を視察し、実際の運営についてお話をお伺いさせていただきました。(快くご協力ご助言いただきました先生方には、改めてお礼申し上げます。)

養成校の先生方との情報交換や、就職説明会での情報発信を通して、幼稚園で働くことの楽しさ、やりがいを伝え、働く環境や研修等による人材育成、また、勤務条件等を理解いただいたうえで、教育実習に来られた学生さんに、「幼稚園でお仕事することに決めました」と言われるように努めていきたいと思います。

さらには、園に就職した優秀な人材が定着するためには処遇改善が重要となってきます。保育所や認定こども園と同様に制度化されるよう、広島県知事、県議会議長への要望項目の第一に掲げ、お願いしているところです。これから郷土を、日本を担う子どもたちのために、明るく未来に向けて働ける環境の構築に向けて精進して参ります。

((公財) 広島県私立幼稚園連盟副理事長、三原市・学校法人みどり学園みどり幼稚園／山中隆司)

主な会合予定

◎会議・研修会

5月24日	定時総会	東京・私学会館
8月18日・19日	第8回幼児教育実践学会	北海道・札幌市
10月16日・17日	設置者・園長全国研修大会	大分県・大分市

◎地区教研大会日程

北海道地区	7月31・8月1日	北海道・札幌市
東北地区	9月1・2日	宮城県・多賀城市
関東地区・ 神奈川地区	8月8・9日	新潟県・新潟市
東京地区	7月24・25日	東京都・千代田区
東海北陸地区	7月27・28日	福井県・福井市
近畿地区・ 大阪地区	7月28・29日	京都府・京都市
中国地区	8月21・22日	島根県・松江市
四国地区	8月3・4日	愛媛県・今治市
九州地区	7月31・8月1日	福岡県・福岡市

編集後記

平成29年度のスタート。子どもたちは、期待と誇りと幾何かの不安を胸に、進級・入園してきます。そして先生たちもまた同様、期待と同じくらい大きな不安も抱きながらの新学期を迎えることでしょう。子どもたちが先生に褒められることで自信を得ていくように、先生たちもまた、園長や仲間たちに認められて確かなキャリアとなっていくのだと思います。保育の質の向上が求められる中、先生の研修時間の確保が必要となっています。学んだことを実践に生かし、自分の保育を見直し変えていくことができた時、それを確かな目で認め評価していくことが私たちの大切な役目だと思っています。子どもたちの幸せを願い、園長も先生たちも、自分のキャリアに誇りが持てるよう、学び多き1年にしていきたいものです。

(調査広報副委員長・野上秀子)

平成29年度(第2回) 免許状更新講習の認定一覧

●選択領域「受講者が任意に選択して受講する領域」に関する免許状更新講習

講習の開催地	講習の概要	担当講師	時間数	講習の期間	受講数	認定番号
長野県 長野市	「自然から造形へ」を大きなテーマに講師、大学生および幼児制作の平面・立体作品などを紹介しながら自然と造形の関わり方を講義する。それに基づいて午前中は水彩などで絵画制作、午後は松かさの構造を利用した立体作品を制作する。演習で制作した絵画・立体作品をもって試験とする。	笹井弘(エコアプローチ造形作家、玉川学園高等部非常勤講師、武蔵野美術大学特別講師、上田女子短期大学教授)	6時間	平成29年6月10日	100人	平29-80012-503447号

ひろみちお兄さんの からだあそび

佐藤弘道 著

からだがつくられる幼児期には、全身の運動能力をバランスよく身につけることが大事。筋力・瞬発力・柔軟性・平衡性など、身につけた運動能力ごとにあそびを紹介していきます。補助のしかたや安全のポイントなど、役立つアドバイスもいっぱいの、からだあそびの決定版！

じわじわ
どっか〜ん!
体力アップ

楽しく
バランス!
調整力アップ

親子体操

定価 1,944円(税込)
26×21cm/96ページ
発行・発売 チャイルド本社

好評発売中!

